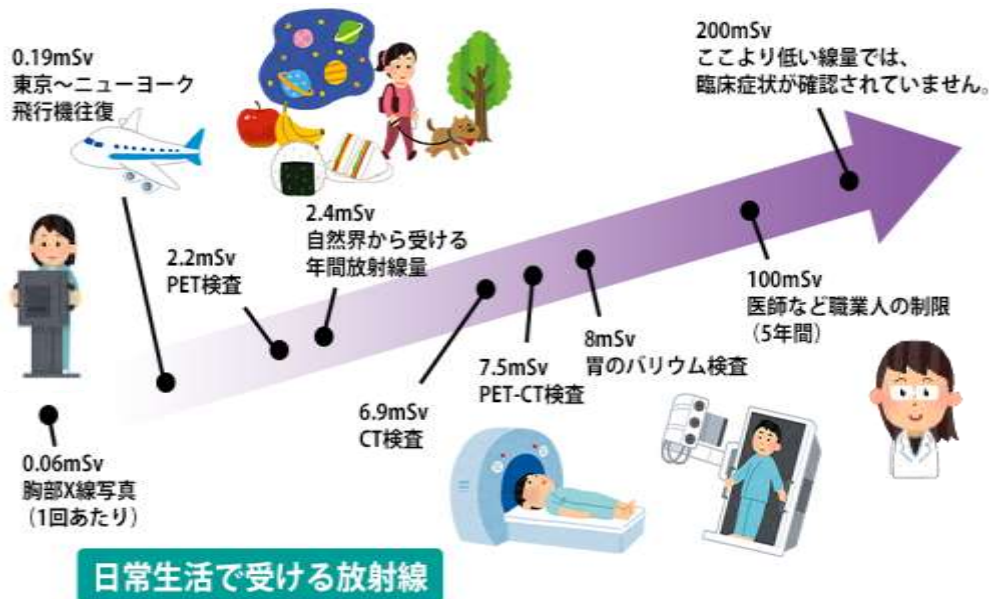


## レントゲン

## - X-ray photograph -

## 【レントゲンの被ばく線量について】

レントゲンの放射線被ばくってどのくらい？



## 気になる被ばく線量について解説します

例えば胸部レントゲン撮影の被ばく線量は、0.06mSv（ミリシーベルト）程度です。四肢や歯科の撮影などでは、より少ない線量です。

「胸部レントゲン撮影」と「航空機に乗っている時」とでは、ほぼ同等、場合によってはレントゲン撮影の方が少ない被ばく線量です。それだけ少ない線量で胸部レントゲン撮影の検査は行われています。

当院は医療被ばく低減施設認定を取得し、国内の平均線量より少ない線量で撮影可能です。

私たちは地球上で生活しているだけで自然放射線を浴びています。日本国内では、自然界から年間平均 2.1mSv の放射線被ばくを受けているとされます。この自然界からの放射線は、宇宙から降り注ぐものや、地面から出ているものなど多種にわたり、普段飲食している食物に含まれるものもあります。

このような数値と比較することで、レントゲン撮影の被ばく線量がどれくらい低いのかご理解いただけると幸いです。

ご不明・ご心配なことは診療放射線技師にお尋ねください。  
中央放射線部ホームページも是非ご覧ください →→→→→  
<https://aichi-med-u-radio.com>



## 【レントゲン装置の紹介】



立位やベッドに寝て撮影する装置とは別に写真(左)のように小児専用の撮影台もあります。ご家族と対面して撮影でき、お子様もご家族の顔を見ながら安心して撮影可能です。写真には載っていませんが、脊椎全体を撮影できる装置もあります。

## 【ポータブル装置の紹介】



病室から出ることのできない患者さんや安静度の高い手術後等の患者さんはポータブル装置で撮影を行います。